

旭硝子株式会社 2013年度12月期 第3四半期決算 主な質疑応答

広報・IR室

【全社】

- Q1. 第2四半期決算で通期の業績見通しの下方修正を発表しましたが、当時から状況の変化はありますか？
- A1. 見通しと比べ、東欧の建築用ガラスの出荷が伸び悩み、東南アジアの化学品市況が悪化しました。ただし、業績見通しにはある程度のリスクを織り込んでいるため、通期の業績見通しは達成できるものと見込みを立てています。

【ガラス】

- Q1. 欧州建築用ガラス事業の状況について教えてください。
- A1. 第3四半期は西中欧では前四半期比で出荷数量は微減も価格は改善しました。一方、東欧では出荷数量は微増であったものの、価格は横ばいで推移しました。
第4四半期はオフシーズン入りするタイミング次第ですが、10月と11月は需要期でもあるため、出荷増を期待しています。
- Q2. ソーラー事業の状況について教えてください。
- A2. 昨年アメリカの太陽電池用カバーガラス工場を閉鎖し、収益は改善傾向にあります。しかしながら、厳しい事業環境が継続していることから、さらなる収益改善のため中国で太陽電池用カバーガラスの生産を停止し、自動車用ガラス工場への転換を決定しました。

【電子】

- Q1. 液晶用ガラス基板の前四半期比の出荷、価格動向を教えてください。
- A1. 第3四半期の出荷数量はほぼ横ばいで推移し、価格の下落幅は前四半期と比べ緩和しました。
- Q2. 化学強化用特殊ガラス(ドラゴントレイル)の出荷動向を教えてください。
- A2. 採用機種数は順調に増加しています。ただし、第3四半期は搭載機種の出荷に影響され、出荷数量は前四半期比ほぼ横ばいでした。

以上